

「重点的に予算執行の効率化等を図るべき特定経費」の効率化等の具体的な取組

番号	部局	経費名	予算執行の効率化等の具体的な取組
①	技術調査課	技術研究開発費補助金	透明性・競争性を確保する観点から、外部有識者からなる「建設技術研究開発助成制度評価委員会」において審査頂いた募集要領(公募テーマ、審査基準等)に基づき、技術研究開発に関する提案の公募を行い、同委員会において応募課題の審査・選定を行ったうえで、優秀な提案に対し補助金の交付決定をした。
②	官庁営繕部	修繕需要に対する調査及び予防保全のための手法の検討	透明性・競争性を一層確保する観点から、本年度から外部有識者からなる第三者委員会において技術提案書の特定に関する審査を実施した。また、参加者に求める類似業務の実績の要件を必要最小限とするとともに、資格や経験に関する評価と比べて技術提案に関する評価のウェートを高めた。
③	総合政策局	下請建設企業支援対策費補助金	事業執行の適切性・透明性確保の観点及び事業効果の効果的・効率的な発現の観点から、交付申請前の段階において、補助事業者との間で、補助金申請の準備状況や見通し等に関する情報交換を密に行うとともに、補助事業者からの相談に応じ、電子メール、電話等を活用し、申請書類の事前確認を行い、必要に応じて補正を求める等厳格な事業執行に努める一方、正式な交付申請があった際には、相談段階で事前入手した電子媒体を活用するなど、書類審査等の事務処理を迅速に行うことにより、速やかな交付決定を行った。
④		地域公共交通活性化・再生総合事業	事業効果の早期発現を図る観点から、補助金申請に係る手続きについて、運輸局本局及び支局にて申請予定の協議会に参加する等して、地域の実情を踏まえた上で、案件の熟度を判断する等、公募前に案件調査を行うことにより、事業の内容と執行可能性を把握し、早期に補助金の交付決定を行った。
⑤	国土計画局	定住自立圏等形成に向けた地域経営推進事業	予算執行の透明性の確保や政策目標の実現に向けた効果的・効率的な執行を図る観点から、出来る限り客観的な評価項目や点数に基づき第三者委員会での事業選定を行う一方、十分な公募期間を設定するとともに、持ち回り委員会にて迅速な選定を行うことにより、早期の委託契約を行った。
⑥	土地・水資源局	地籍整備推進調査費補助金	政策目標の実現に向けた効果的な執行を図る観点から、地方公共団体の地籍調査担当に加え、都市開発や管財等の担当部署に対しても、当該補助金の具体的な活用事例や地籍整備による政策効果について、直接、訪問説明等を行った。
⑦	水資源局	水資源対策調査地方公共団体委託費	事業効果の早期発現を図る観点から、委託費に係わる契約手続きについて、前年度末に関係自治体担当者のヒアリングを行い、当該年度の執行状況や次年度の予定を適宜把握する等、関係自治体と契約内容について早期に調整を行うことにより、契約時期を早めることができた。
⑧	都市・地域整備局	景観・歴史的環境形成総合支援事業費補助金	適正かつ効果的な予算執行を図る観点から、年度途中に複数回にわたり担当者のヒアリングを行い、今年度の執行状況や来年度の予定を適宜把握し、事業計画の変更等に柔軟に対応するとともに、早期に適正な交付の決定を行った。
⑨	河川局	低炭素型工事等検討経費	より透明性・競争性を確保する観点から、契約方式を総合評価落札方式とし、有識者委員会(河川局企画競争有識者委員会)を実施した。なお、審査に当たっては、提案内容を客観的に評価するため、数値化した審査基準(①技術等についての評価項目の設定、②各評価項目についての得点配分の設定等)を設定した。さらに、本委員会を早期に実施することにより、入札・契約時期を早め、十分な調査・検討期間を確保した。

「重点的に予算執行の効率化等を図るべき特定経費」の効率化等の具体的な取組

番号	部局	経費名	予算執行の効率化等の具体的な取組
⑩	道路局	道路交通分野における地球温暖化対策検討経費	十分な成果が得られるよう適切な検討調査期間を確保する観点から、早期に発注内容を明確化し、有識者委員会(道路局企画競争有識者委員会)に審査基準の審議を受けることで、早期の契約に努めた。なお、審議に当たっては、数値化した審査基準(各評価項目について得点配分を設定)を設定した。また、企画提案者の特定においても有識者委員会の審議を受け、透明性・客観性の確保に努めた。
⑪	住宅局	マンション等安心居住推進事業	より透明性・競争性を確保する観点から、合意形成に時間を要する管理組合より、多くの募集申請が可能となるよう応募期間を長く設定(2ヶ月半)した上で、学識経験者からなる評価委員会を設置し、あらかじめ評価委員の意見を踏まえて作成した評価視点を基に、中立・公正に審査を行った。
⑫	鉄道局	LRTシステム整備費補助金	事業効果の最大限の発現を図る観点から、地元関係者(事業者や地方公共団体)で構成するLRTプロジェクト推進協議会で策定された計画に対し、鉄道局、都市・地域整備局、道路局の連携のもと、総合的に支援を行っており、また、当該協議会へ運輸局も参加することで、地元関係者と連携がとれ、必要な時期に遅れることなく補助金の交付決定を行うことができた。
⑬	自動車交通局	バス運行対策費補助金	9月30日までの1年間の運行に係る補助対象経費について、11月20日まで交付申請の受付を行ったところ。現在は各地方運輸局において審査を行っており、順次本省に進達の上、2月中に交付決定及び額の確定を行う見込。今年度の執行に当たっては、効率化等を図る観点から、補助事業者との連絡を密に行うとともに、書類審査等の事務処理を迅速に行うこと等により、できる限り早期の交付決定及び額の確定を行ってまいりたい。
⑭	海事局	高効率船舶等技術研究開発費補助金	執行の適切性及び透明性の確保する観点から、有識者からなる第三者の評価部会を設置し、事業年度ごとに補助事業の進捗状況の確認や次年度事業計画の評価を行うことで、補助事業が十分な成果が得られるよう努めている。
⑮	港湾局	港湾広域防災拠点施設に係る維持管理業務	公正なる競争性を確保する観点から、審査項目・配点を明確にした評価基準(外部有識者による確認済み)を公表して行う総合評価落札方式による一般競争入札とし、更に、評価基準の他、業務概要等も広く確実に周知せしめるという観点から、早期公告開始により十分な契約手続き期間を確保するとともに目標達成のための契約期間も確保した。
⑯	航空局	公共交通等安全対策	より効果的な執行を図る観点から、十分な成果が得られるよう過去の実績を踏まえ、当該年度の執行内容の精査、検討を行い、執行計画を策定し、執行管理を行うことにより、入札・契約時期を可能な限り早め、適切な調査期間を確保した。
⑰	北海道局	北方領土隣接地域振興等事業推進費補助金	補助効果の最大限の発現を図る観点から、補助金申請に係る手続きについて、補助事業者との間で、補助金申請の準備状況や見通し等に関する情報交換を密に行うように努めるとともに、申請の概要等を電子媒体により事前入手するなど、書類審査等の事務処理を迅速に行うことにより、早期に補助金の交付決定を行った。
⑱	観光庁	観光圏整備事業費補助金	事業効果の早期発現を図る観点から早期に公募を実施して審査を行い、平成22年度当初に補助金の交付決定を行った。審査に際しては透明性・客観性を図る観点から外部有識者で構成される第三者委員会を開催し、前年度の進捗・実施状況を勘案して事業の事前・事後評価を実施するとともに、取組内容について必要な改善・組み替えを求めることで効果的な予算執行を図っている。

「重点的に予算執行の効率化等を図るべき特定経費」の効率化等の具体的な取組

番号	部局	経費名	予算執行の効率化等の具体的な取組
⑱	気象庁	基盤的観測網の維持・強化	計画的かつ効率的な整備を推進する観点から、これまでの観測所ごとの年次計画による単年度予算での整備を改め、全国156箇所の更新計画を全体として国庫債務負担行為を活用した一括発注を行った。
㉓	運輸安全委員会	運輸安全委員会の行う調査に必要な経費	より透明性、競争性を確保する観点から、少額随意契約の場合において、複数社からの見積徴収が可能と判断した場合に参加意欲のある事業者に対して、一般競争契約の手続きに準じて仕様書等を閲覧させ、広く調達の情報を提供する機会を与える方法(オープンカウンター方式の調達)により、予算の効率的な執行に努めている。
㉔	海上保安庁	職員等の教育訓練	計画的な予算執行を確保する観点から、必要の都度、調達を行っていたプリンタートナー等の消耗品について過去の実績を踏まえつつ調達を取りまとめるなど、必要な物品等の調達内容、調達時期を再検討し、調達手続きの効率化を図るとともに、毎月経常的に必要となる経費を除き、予算執行の時期を全体的に可能な限り早め、年度末執行の回避を図っている。